

2021 年 4 月

当科において今まで脳腫瘍に対する手術治療を受けた患者さんへ

【過去の腫瘍検体を研究へ利用することについてのお願い】

埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科では、以下の臨床研究を行っています。

「flow cytometry を用いた DNA aneuploidy 率の定量による脳腫瘍増殖能評価と再発予測について」

本研究は、現在も手術摘出のリスクが高い脳腫瘍の増大形式を理解し、将来的な安全な手術法の開発を目指したものです。この目的のために、過去に当科にて脳腫瘍に対して手術を受けた患者さんのうち当院で保存している腫瘍検体の一部を本研究のために使用させていただきます。

本研究は埼玉医科大学総合医療センター倫理委員会で審査を受け、病院長の承認を得て行われます。

○症例登録期間： 2015 年 1 月 1 日から 2028 年 6 月 30 日（この間に手術を受けた方）  
研究期間： 当院倫理委員会承認日から 2030 年 6 月 30 日  
但し、これらの期間は、必要な手続を経て変更する場合があります。

- ・ 過去に採取された腫瘍検体の一部と臨床データを用いる研究であり、新たな検査や費用負担が患者さんに生じることはございません。また検体を使用させていただいた患者さんへの謝礼などもございません。
- ・ 本研究は遺伝子変異に関する解析は含まれておりません。
- ・ 使用する検体とデータは完全に匿名化し、個人が特定されないよう個人情報に関しては厳重に管理いたします。
- ・ 個々の症例に関する解析結果は、患者さんへは原則として開示をいたしません。腫瘍検体の研究利用の拒否を希望される方は下記の連絡先へご連絡いただけましたらご案内申し上げます。
- ・ 研究成果は、学会や医学雑誌などの発表に使用される場合があります。この際も個人情報が公表されることは全くございません。
- ・ 研究に用いた検体等は本研究が終了する 2030 年 6 月 30 日以降も引き続き保存され、本

研究の趣旨と合致する目的を持つ研究については、適切な手続き・審査を経て二次的に活用される可能性があります。

- ・ 研究成果においては、知的財産（特許などを想定しています）が生じる可能性もありますが、その権利は学校法人埼玉医科大学が有し、検体をご提供いただいた患者さんには知的財産権はございません。
- ・ 本研究は、当脳神経外科の研究費を使用して行われ、特定の企業や団体との利益相反はございません。

もし今回の腫瘍検体の研究利用につきましてご説明を希望される場合やご同意をいただけない場合には、いつでもご遠慮なく下記の問い合わせ先までご連絡ください。

また、当然のことながら、同意の有無が以後の治療などに影響することは全くございません。

#### 【問い合わせ先】

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 教授 大宅宗一  
埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科  
〒350-8550 埼玉県川越市鳴田 1981

TEL: 049-228-3671, FAX: 049-228-3671

(平日 9 時～17 時)